

目的や意図に応じ、文章全体の構成や表現を工夫して書こう

「主体的・対話的で深い学び」の視点から改善した単元の指導で、目的や意図に応じ、文章全体の構成や表現を工夫して書く能力を高めましょう。

具体的には、まず、単元の導入で、伝えたいことや相手、目的を明確にし、学習の見通しをもたせることです。文章全体の構成や書き方を考える際には、どうしてそのように書こうとしているのか、伝えたいことや相手、目的に立ち返るなどして確かめさせ、意図や効果を意識させることが大切です。また、文章の説得力を高めるために本に書かれていることを根拠にする場合には、出典を明らかにさせましょう。

ワークシート活用場面例

第5学年

12月

「あなたは、どう考える」
(光村図書 五)

ICTを活用できます。

ICTを活用できます。

時	主な学習活動
1	○「読み手が納得する意見文を書こう」という課題を設定し、学習の見通しをもつ。
2	○題材を決め、主張や理由、根拠を明確にする。
3	○自分の考えを見直したり、グループで見せ合ったりして、他の立場から自分の考えを見直す。 ○例を参考に、文章の構成を決める。
4	○意見文を書き、読み返して文章を整える。
5	○意見文を読み合い、説得力のある書き方だと思ったところなどを伝え合う。 ○単元の学習を振り返る。
6	



どうしてそのように書いているの？

課題のあり方、目的や意図に応じた表現の工夫は、ワークシートの**問題文と選択肢**が参考になります。

ポイント

伝えたいことや相手、目的に立ち返るなどして確かめ、文章全体の構成や表現を工夫した意図、効果を意識しながら書くことができるようにすることが大切です。

第6学年

7月

「私たちにできること」
(光村図書 六)

ICTを活用できます。

ICTを活用できます。

時	主な学習活動
1	○「学級の仲間へ受け入れてもらえる提案する文章を書こう」という課題を設定し、学習の見通しをもつ。
2	○グループで話し合い、提案したいことを決める。
3	○提案のための情報を集め、グループで話し合っ
4	て提案にふさわしいものを選ぶ。
5	○グループで話し合いながら、提案する文章の構成を考える。
6	
7	○グループで内容や書き方を話し合い、提案する文章を書く。
8	
9	○提案する文章を読み合い、「分かりやすい」「説得力がある」と感じたところを伝え合う。
10	○提案を実行してもらい、感想を聞く。 ○単元の学習を振り返る。

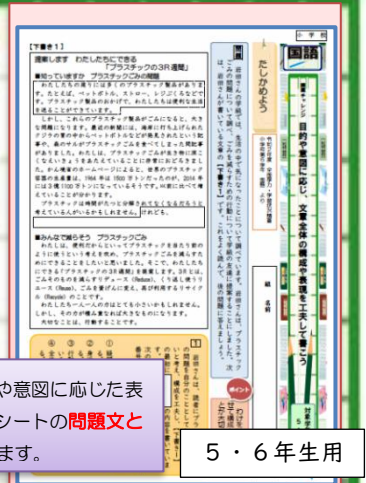
出典を書きましょう。

※委員会活動などでの提案に生かすこともできます。



ポイント

モデル文で比較するなどして、信頼性の高い本に書かれていることや事実を根拠とし、意見等と区別して書くことと説得力が高まることを実感させることが大切です。また、出典を明らかにして書き記すことは、方法とともに確実に教えたいことです。※引用については、第3学年上、第5学年、第6学年の教科書に説明があります。



単元導入時に取り組むことで、文章の全体構成や表現の工夫の例と、それらには目的や意図に応じるといふ理由があることを確認することができます。

単元の終末に取り組むことで、説得力を高めるために本に書かれている事実を正確に書くこと、事実と意見等とを区別して書くことなどの確かめをすることができます。